校長室だより じるたるやま No. 1

令和3年4月28日 丸森小学校

校長 佐藤 芳樹

『新年度を迎えて』

新年度を迎えて約1か月が経過しようとしています。タイトルとは若干のずれのあるこの時期に、このお便りを発行しようと思い至った理由は、新型コロナウイルス感染症の拡大によりPTA総会を紙面でしか実施できなかったことにあります。

本来であれば、その場で保護者の皆様に着任の挨拶をし、あわせて学校経営の概要を伝えさせていただくつもりでした。今年度は、歴史と伝統のある丸森小学校が閉校する最後の1年にあたり、それに伴う諸準備や諸々の行事に取り組むことになります。また、新丸森小学校開校のための校舎大規模改修で、ほぼ1年間のプレハブ校舎暮らしを強いられま

す。直近では、感染症の影響で、授業参観などの行事の急な変更 を強いられ、保護者の皆様には多大な迷惑をおかけしました。

今後もたくさんの困難が予想される中、丸森小の子供たちを、 **やさしく かしこく たくましく**育てていくためには保護者 の皆様の協力が不可欠です。どうぞ、この1年間よろしくお願 いいたします。



「じろたろやま」に寄せて

次郎太郎山は、丸森地区の中心にそびえる標高 5 3 0 mほどの山です。私はどっしりとしたその 威容を、子供のころから朝な夕なに阿武隈川の対 岸から眺めて育ちました。地区は違えども、私に とっての「心の山」なのです。今回、校長室だよりを発行するにあたり、この山の名前をタイトルとして拝借しました。学校だよりに載せきれない子供たちの様子や校長としての思いを、不定期にお届けします。



校長自己紹介

この4月に校長として着任しました 佐藤 芳樹です。前任は筆甫小で、町内 ではほかに小斎小での勤務経験があり ます。

仙台市で10年ほど勤務したのちに、 地元である町内大張に戻り、少しばか りの田畑を維持しながら教員を務めて きました。教員生活の最後の部分を町 内で努めることができてとても嬉しく 思っており、微力ながら町の教育と丸 森小の子供たちの育成のために尽力す る所存です。

登山を趣味としており、国内の主な山はもちろん、海外の高峰にも何度かチャレンジしたことがあります。機会があれば、子供たちにそんな話もしたいと思っています。

皆様方のお力添えを期待しておりま す。どうぞよろしくお願いします。

校長室の窓から ~4月の丸奈小~

その1 ご協力に感謝!~奉仕作業~

17日の学習参観を感染症拡大のため急遽中止したため、19日と期限を切られていた校舎の荷物の引っ越しは、半ば職員だけでやることを覚悟していました。ところが、蓋を開けてみれば、作業のためにたくさんの保護者の皆様が、土曜日の午後にもかかわらず駆けつけてくれました。おかげさまで、予定した作業を、ほぼ予定した時間に終わらせることができました。職員の力だけでは、とてもあれだけの作業をその日のうちに終わらせることはできませんでした。不安を抱えながら丸森小に赴任し、涙が出るほどうれしかった最初の出来事でした。お手伝いいただいた保護者の皆様に、心より感謝を申し上げます。

その2 新型コロナウイルス感染症対策

あれだけ感染者の少なかった丸森町も、この4月に入ってから感染が急拡大し、感染症が本当に身近に迫っていることを感じさせられます。このところやや落ち着きを取り戻しましたが、全国的な拡大傾向は、簡単に収まりそうにありません。

これだけ拡大が広まれば、もはや「感染元は・・・」とか「・・・の責任は」などということは言っていられません。不謹慎な行動は論外としても、誰しもが感染しておかしくない状況です。このような中で一番大切なのは、自分自身が感染しないための努力をすることです(仕事の上でやむなく感染した方やそのご家族には甚だ失礼ですが・・・)。学校においても、これまで以上に、感染防止に留意した生活を心がけるように指導します。

大丈夫です。要は感染しない生活習慣と、ウイルスに負けない体力づくりです。

その3 はやね はやおき 朝ご飯 8時だ3!全員集合

少々古いコピーですが、お分かりの方も多いと思います。丸森小学校の登校時刻は8時ですから、先日行われた交通安全教室の際に、高学年の児童向けにちょっと使わせてもらいました。現在、校舎改築のために、やむなく通学路を変更しています。その狭い通学路を、**安全に、遅刻をせずに、**低・中学年の子を導いてくれるように、高学年の子にお願いしたのです。初めは良かったのですが、このところ遅れがちの子が目立つようになりました。学校でも指導しますが、ご家庭でもお声がけください。

最後に「逆境に勝る教育なし」~ディズレーリ(19世紀ィギリスの政治家)~

台風による傷跡は今も残り、校舎改築に伴う不自由さや不便さもあのます。子供たちには、始業式の際に、「困難に負けずに頑張ろう」という話をしました。